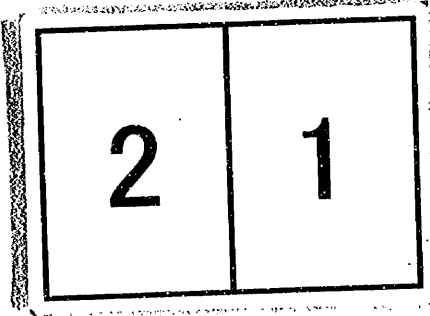


分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	消耗品第4類西記分表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

艦潜驅		艦務特		艇海掃			艇雷水		艦水潛等二						艦水潛等一						艦逐驅等二					艦砲		艦防海			艦設敷			艦母水潛				艦母空航								
第三號、第七號、第五十一號	第一號、第二號	測	鳴	知床型 (襟裳ヲ除ク)	間	第十五號、第十四號、第十二號、第十七號、第十八號	第七號、第八號、第九號	鴻	千鳥	呂五十六型、呂三十三型	呂五十七型、呂六十型	呂六十四型、呂六十五型、呂六十六型	伊五十三型、伊五十一型	伊六十六型、伊五十八型	伊七十七型	伊百二十一型	伊七型	峯風型	若菜、菊、菱、蓮、蘆、菖、竹	梶、榆、栗、梨、竹、柿、梅	桃	伏	出	八雲、磬	嚴	沖	常	迅	駒	大	劍	千代田、瑞穂	龍	飛	蒼	赤	加	鳳								
○	○																																													
108	54	144		54		54		198		108		252		216		162		144		108		54	108	252	54	108	144	54	198	396	144	144	198	252	198	108										
108	54	144		54		54		198		108		252		216		162		144		108		54	108	252	54	108	144	54	198	396	144	144	198	252	198	108										
54	54	70	72	144	72	54	54	252	162	342	252	558	594	324	288	378	49	54	90	72		54	1476	1026	216	504		108		54	108	252		108												
			56				246	182										1616	1.181		686	436		346	112	143	36	343	212	325	688	1315	1000	315												
54	54	126	128	200	72	54	300	236	252	162	342	252	558	594	324	288	378	1665	1.235	1.271	758	508	530	380	230	1594	1144	562	616	251	144	451	397	320	577	796	1423	1108	423							

○艦船所在

指印ハハハ
定タ要セズ

○十月十四日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、高雄▲、五十鈴、陸奥、鈴谷▲、愛宕、▽蒼龍、夕張、長鯨、

▽長門、▽口島海、摩耶、▽那珂、▽赤城、

▽劍埼、迅鯨

島風▲、灘風▲、夏雲▲、峯雲▲、澤風、雷、

▽春風、旗風、▽村雨、春雨、夕立、五月雨、

▽朧、潮、曙、▽天霧、朝霧、夕霧

伊一二三▲、伊一二四

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

汐風、波風、▽朝雲、山雲、▽響、電、

▽曉、帆風、狹霧、▽野風

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、▽呂五七、

呂五九、呂五八、▽伊五、伊四、伊七

【館山】

山城

【石川島】

沼風▲

【横濱】

尻矢

【浦賀】

北上▲

【大湊】

葵▲、▽秋風、夕風

【父島】

大泊

【函館】

▽沖島、萩▲

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、

鳳翔、最上、駿島▲、古鷹、加古、白鷹、

鬼怒、龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波▲、▽初雪▲、白雲▲、吹雪▲、▽東雲、

叢雲、薄雲、霞▲、▽蔽▲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊一二三▲

伊一二一▲、伊七〇、伊六九、▽伊一、

伊二、伊三、伊六四、伊八、▽伊五五、

伊五三、伊五四、▽伊六二、伊六一、

伊七五、伊七四、▽伊七三▲、伊七二▲、

伊七一▲

【大阪】

攝津▲、明石▲、隱戸、間宮、室戸

伊九▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

天龍▲、彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月▲

黑潮▲、(夏潮)▲

木曾

伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、

(伊一〇)▲

【神戸】

伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、

(伊一〇)▲

海軍公報(部内限)第三千三百三十七號

昭和十四年十月十四日

一一八七

【相生】神風、**呂六二**、朝顔、刈萱

鶴見

【玉】(初鷹)

【因ノ島】**呂六二**、水無月、阜月

【江田内】平戸

【三津濱】矢風

【舞鶴】吾妻、多摩、利根、筑摩

白雲、羽風、太刀風

【佐世保】(陽炎)、(親潮)

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、飛龍、霧島、金剛

梨、竹、榎、桃、柳、檜、薔、蓬、菱、葎、柿、楡、長月、大朝、荒潮

朝潮、滿潮、睦月、望月、菊月、若葉、初春、子日、初霜、三日月、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、呂六八、呂六六、呂六四、呂六五、呂六三、呂六七、呂六五、伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三

掃一、掃二

真鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島、佐多、早柄、野島

(雪風)、(磯風)、(伊一八)

【長崎】羽黒

【興南】浦波

【清津】綾波

【羅府】石廊

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、駒橋、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風

伊六三

隼、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳

【航海中】

知床 (三日横須賀發「ホノルル」)

磐手、八雲 (四日横須賀發「ホノルル」)

大井 (十四日新港發「吳」)

0916

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千三百三十八號

昭和十四年十月十六日(月)

海軍大臣官房

○通牒

官房第五三三九號

昭和十四年十月十六日

海軍省副官

各廳長殿

靖國神社臨時大祭ニ付休暇ノ件通牒

靖國神社臨時大祭ニ付本月二十日諸官員竝ニ陸海軍軍隊、諸生徒ニ休暇ヲ賜フ旨仰出サレ候條了知相成度

經豫第三號ノ二三八

昭和十四年十月十三日

海軍省經理局長

各廳長殿

國債買入ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏次官ヨリ依頼有之候ニ付テハ可然勸奨方御取計相成度

(別紙)

藏理第六八三五號

昭和十四年十月二日

大藏次官 大野龍太

海軍次官 住山徳太郎殿

來ル二十三日ヨリ十一月二日迄第十二回支那事變國債郵便局賣出ヲ行フコト相成候ニ就テハ貴管下各方面ニ對シ右國債ノ買入勸奨方何分ノ御盡力相煩度此段及御依頼候也

○辭令

海軍省事務囑託 小林 素夫

自今報酬年額貳千圓ヲ給ス(ハ前海軍省)

朝鮮總督府土木事務官 高須 清一

海軍燃料廠鑛業部ニ於ケル鎮南浦繫船工事業務ヲ囑託ス(ハ前同)

海軍公報(部内限) 第三千三百三十八號

昭和十四年十月十六日

一一八九

(各通)

海軍中佐 長井 純隆
 海軍少佐 川崎 松平
 同 大谷 龍藏
 第一課勤務ヲ命ス(海軍省人事省)
 海軍中佐 木村 健二

總務部第一課勤務ヲ命ス(海軍航空本部)

軍令部出仕海軍大佐 犬塚 惟重

第三部勤務ヲ命ス(軍令部)

海軍大尉 蒲生 一郎

通信部第十課勤務ヲ命ス(大本營海軍部)

海軍中尉 三澤 忠雄

通信部第十課勤務ヲ命ス(海軍部)

海軍大佐 岡 敬純

參謀部第三部長ヲ命ス(海軍部)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第一艦隊司令長官ハ十月十三日第三戰隊旗艦ヲ霧島ヨリ金剛ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

特務艦佐多宛
自今

吳

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○十月十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、高雄▲、五十鈴、陸奥、鈴谷▲、愛宕、▽蒼龍、夕張、長鯨、

▽長門、▽島海、摩耶、▽那珂、▽赤城、

▽劍埼、迅鯨、山城

島風▲、灘風▲、夏雲▲、峯雲▲、澤風、雷、

▽春風、旗風、▽村雨、春雨、夕立、五月雨、

▽隴、潮、曙、▽天霧、朝霧、夕霧

伊一三▲、伊一二四

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

▽沖島

沙風、波風、▽朝雲、山雲、▽響、電、

▽曉、帆風、狹霧、▽野風

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、▽呂五七、

呂五九、呂五八、▽伊五、伊四、伊七

【石川島】

沼風▲

【横濱】

尻矢

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲

(不知火)▲、(早潮)▲

葵▲、▽秋風、夕風

【大湊】

大泊

【函館】

▽菊▲、萩▲

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、

鳳翔、最上、殿島▲、古鷹、加古、白鷹、

鬼怒、龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑、大井、

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波▲、▽初雪▲、白雲▲、吹雪▲、▽東雲、

叢雲、薄雲、霞▲、▽霞▲、矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊一二二▲、

伊一二一▲、伊七〇、伊六九、▽伊一、

伊二、伊三、伊六四、伊八、▽伊五五、

伊五三、伊五四、▽伊六二、伊六一、

伊七五、伊七四、▽伊七三▲、伊七二▲、

伊七一▲

雁 攝津▲、明石▲、隱戸、間宮、室戸

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月▲

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

木曾

▽伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、

(伊一〇)▲

海軍公報(部内限)第三千三百三十八號

昭和十四年十月十六日

一一九一

【相生】神風、口芙蓉、朝顔、刈萱

鶴見

(初鷹)

【玉】呂六二

【因ノ島】口文月、水無月、卓月

【江田内】平戸

【舞鶴】吾妻、多摩、利根、筑摩

白雲、羽風、太刀風

伊五二

(陽炎)(親潮)

【佐世保】常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、飛龍、霧島、金剛、梨、竹、樞、桃、柳、檜、藁、菱、荒潮、朝潮、滿潮、睦月、望月、菊月、若葉、初春、子日、初霜、三日月、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、呂六八、伊六六、呂六四、伊六五、伊六三、伊六六、呂六五、伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三、掃一一、掃一二

口真鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島、早瀬、野島

(雪風)(磯風)(伊一八)

【長崎】羽黒

【元山】浦波

【清津】口綾波

【羅府】石廊

【作業地】口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、駒橋、栗、梅、蓮、夕風、朝風、口松風、朝風、白雲、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風

伊六三

口隼、鴨、鴻、鷓、鷺、鳩、雉

口掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳

【航海中】知床(三日横須賀發)「ホノルル」(佐多(十四日佐世保發)「吳」)

口磐手、八雲(四日横須賀發)「ホノルル」(佐多(十四日佐世保發)「吳」)

(限 内 部)

0920

海軍公報(部内限)號外

○ 令 達

昭和十四年十月十六日(月)
海軍大臣官房

官房第五三二九號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十四年十月十四日

航海長主管

海 軍 大 臣

艦 船 部 隊 名	品 類 別 番 號	區 別	
		消	耗
軍艦、特務艦、艦隊、練習艦隊、戰隊、水雷戰隊、潜水戰隊、航空戰隊、防備戰隊、各司令部、驅逐隊、潜水隊、水雷隊、掃海隊、各要港部、各海兵團、舞鶴要港司令部、各防備隊	二ノ四九	ツ フ ア イ チ ン ダ、 シ ツ ア ス	部
	二ノ五〇	ネ ー バ ル、 ア ニ ユ ア ル	部
	二ノ五一	エ ア ク ラ フ ト	部
記 事			

海軍公報(部内限)號外

海軍公報 (部内限) 號外

各海軍航空隊 (百里ヶ原分遣隊)
 筑波海軍航空隊 (谷田部分遣隊)
 霞浦海軍航空隊 (飛田豫科練習部)
 霞浦海軍航空隊 (大本隊)
 東京海軍通信隊 (父和隊)
 東京海軍通信隊 (大田分遣隊)
 稚内海軍通信隊 (高島海軍通信隊)
 旅順海軍特別陸戰隊
 上海海軍特別陸戰隊

—

—

—

—

0922

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千三百三十九號

昭和十四年十月十八日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第五三四六號

潜水艦調査委員會規程左ノ通定ム

昭和十四年十月十八日

海 軍 大 臣

海軍諸例
則登載

潜水艦調査委員會規程

第一條 海軍省内ニ潜水艦調査委員會ヲ置ク

第二條 潜水艦調査委員會ハ海軍大臣ノ諮問ニ應ジ潜水艦關係事項(作戰用兵ニ關スル事項ヲ除ク以下之ニ同シ)ヲ調査研究審議シ其ノ他委員長ノ必要ト認

ムル潜水艦關係事項ヲ調査研究ス

第三條 潜水艦調査委員會ハ委員長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長及委員ハ左ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

委員長

海軍艦政本部第七部長

委員長

海軍公報(部内限) 第三千三百三十九號

昭和十四年十月十八日

委員

海軍省軍務局第一課長

局員四人

海軍省人事局(第一課長)

局員二人

海軍省教育局第二課長

局員二人

海軍省軍需局

局員一人

海軍省醫務局

局員一人

海軍省經理局

局員一人

海軍艦政本部總務部第一課長

局員一人

海軍航空本部

部員五人

軍令部

部員一人

前項ノ外委員長ハ調査研究事項ニ應ジ必要ノ場合ニ於テハ當該廳長ト協議ノ上海軍省、海軍艦政本部、海軍航空本部及軍令部ノ職員(課長以下)ノ中ヨリ臨時委員ヲ指定スルコトヲ得

第四條 海軍大臣ノ諮問ニ依ルモノノ外調査研究シタル事項ニシテ委員長ノ必要ト認ムルモノハ之ヲ關係部局ニ移スモノトス

部局ニ移スモノトス

部局ニ移スモノトス

部局ニ移スモノトス

部局ニ移スモノトス

○通牒

官房機密第六四九三號

昭和十四年十月十八日

海軍省 副官

關係各廳長殿

資源調査ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通南洋群島在勤海軍武官ヨリ横須賀鎮守府參謀長宛照會有之候條御了知相成度

(別紙)

南在機密E第九〇〇九ノ四號

横鎮機密第二八三四號

昭和十四年九月二十二日

南洋群島在勤海軍武官

横須賀鎮守府參謀長殿

資源調査ニ關スル件照會

南洋群島資源調査ハ南在武官ニ於テモ年々南洋應調査課ノ協力ヲ得テ實施致居候處從來航艦船ガ各々同様ナル事項ヲ其ノ都度直接南洋廳ヘ依頼スル爲南洋應側トシテモ事務多端ノ折柄迷惑ヲ感シ居候、殊ニ最近第十八驅逐隊主計長ヨリ直接南洋廳長官宛調査ヲ依頼シ

タル件モ有之來航艦船ガ現地ニ於テ軍事上ノ調査視察ヲ行ハルルコトハ最モ望ム處ニ候モ如斯單ニ書類上ニテ南洋廳ニ依託セラル調査類ハ鎮守府等ニテ取纏メ南在武官ニ命セラレ度希望致候
右部内一般ニモ周知方御取計ヲ得度

海御府第九號

昭和十四年十月十四日

御府獻納品銓衡委員會委員長

各所轄長殿

御府獻納品銓衡參考資料送付ノ件照會

御府獻納品銓衡ノ參考資料トシテ必要ニ付左記ニ該當スルモノアラバ昭和十五年三月三十一日迄ニ御送付ヲ得度
追テ個人所有者ノ分モ御調査相成度返却希望ノ向ハ用濟後返却可致ニ付其ノ旨附記相成度

記

- 一、出征部隊ノ事變地ニ於ケル寫真又ハ寫真帖
- 二、海軍將兵ノ出征中書キタル事變ニ關スル繪畫又ハ見取圖
- 三、支那側防空施設竝ニ偽裝等ノ寫真又ハ模型

○ 辭 令

海軍大佐 岡 敬 純

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

思想調査委員會委員ヲ命ス

海軍大佐 矢野 英 雄

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

思想調査委員會委員ヲ命ス

表彰審査委員會委員ヲ命ス

二千六百年委員會委員ヲ命ス

海軍服制研究調査委員會委員ヲ命ス

陸海軍軍需工業動員協定委員會委員ヲ命ス

燃料政策調査委員會委員ヲ命ス

軍港要港勢力標準調査委員會委員(幹事)ヲ命ス

海軍懲罰令改正委員會委員ヲ命ス

兵食研究調査委員會委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員會委員ヲ命ス

財團法人海仁會設立委員會委員ヲ命ス

文官普通懲戒委員ヲ命ス(以上^計海軍省)

海軍大佐 鍋島 俊 策

海軍中佐 竹 崎 馨

同 矢 牧 章

同 山 本 善 雄

同 川 崎 進

同 人 見 録 一 郎

同 藤 井 茂

同 垣 田 照 之

海軍少佐 岡 部 三 四 二

同 堀 之 内 義 美

同 山 田 周 吉

同 山 田 盛 重

海軍機關中佐 廣 瀨 藤 藏

同 磯 部 太 郎

同 奥 田 増 藏

海軍軍醫中佐 岡 崎 忠 道

海軍主計中佐 福 田 萬 作

海軍主計少佐 吉 村 甚 吉

海軍造船大佐 片 山 有 樹

潜水艦調査委員會委員ヲ命ス(計^六同)

(各通)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第一驅逐隊司令ハ十月十三日司令驅逐艦ヲ沼風ヨリ野風ニ變更セリ

○特務艦尻矢行動豫定
地名 着 發

横須賀	十一月十六日	十月二十三日
羅府	十一月二十一日	十一月二十一日
ヒロ	十二月二日	十二月六日
横須賀	二十四日	

○郵便物發送先
特務艦尻矢宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ
横濱郵便局氣付
其ノ後ハ
横須賀

○學生入校期日
近ク任命豫定ノ本校高等科學生ハ十一月二十四日始業式ニ付同二十二日迄ニ、同第十七期選修學生ハ十一月七日始業式ニ付其ノ前日迄ニ入校センメラレ度
(海軍軍醫學校)

○試験問題送付ノ件依頼

當隊春風、旗風分離行動中各種練習生採用試験ハ單獨施行ニ付試験問題ハ各艦別直接御送付ヲ得度
(第五驅逐隊司令)

○艦船所在

指[△]定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○十月十八日午前十時調

【横須賀】

春日[△]、神威[△]、三隈[△]、足柄[△]、高雄[△]、五十鈴、陸奥、鈴谷、愛宕、[▽]蒼龍、夕張、

長門、口鳥海、摩耶、[▽]那珂、[▽]赤城、

劍埼、迅鯨

島風[△]、灘風[△]、夏雲[△]、峯雲[△]、澤風、雷

春風、旗風、口村雨、春雨、夕立、五月雨、

龍、潮、曙、口天霧、朝霧、夕霧

伊一二四、伊七

富士[△]、膠州、洲埼、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)[△]

【長浦】[△]沖島

汐風、波風、口朝雲、山雲、口響、電、

曉、帆風、狹霧、口野風

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、口呂五七、

呂五九、呂五八、口伊五、伊四、伊二三

尻矢

【石川島】

沼風[△]

【横濱】

(香取)[△]、(鹿島)[△]

【浦賀】

北上[△]

謎[△]

(不知火)[△]、(早潮)[△]

【縮山】

山城

【大湊】

葵[△]、口秋風、夕風

【函館】

口菊[△]、萩[△]

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡、神通、日向、熊野、

鳳翔、最上、殿島、古鷹、加古、鬼怒、

龍驤、[▽]大鯨、伊勢、扶桑、大井、

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波、口初雪、白雪、吹雪、口東雲、

叢雲、薄雲、霞、口霞、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、伊五一、伊六七、伊一二二、

口伊一二一、伊七〇、伊六九、伊八、

口伊五五、伊五三、伊五四、口伊七五、

伊七四、口伊七三、伊七二、伊七一、

雁

攝津、明石、隱戸、間宮、佐多

(伊九)[△]、(伊一五)[△]、(伊一六)[△]

【大阪】

天龍、長鯨

口彌生、卯月、如月、夕月[△]

(黒潮)[△]、(夏潮)[△]

【神戶】

木曾

口伊六八、口伊五七、伊五六、伊五八、

(初風)[△]、(伊二〇)[△]、(伊二二)[△]、(伊一九)[△]、

(伊一〇)[△]

海軍公報(部内限)第三千三百三十九號

昭和十四年十月十八日

一一九七

【相生】 神風、口芙蓉、朝顔、刈萱

精見

【初鷹】

【玉】 呂六二

【因ノ島】 口文月、水無月、阜月

【江田内】 平戸

【舞鶴】 吾妻、多摩、利根、筑摩

白雲、羽風、太刀風

伊五二

【陽炎】 (親潮)

【佐世保】

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、飛龍、霧島、金剛

梨、竹、榊、桃、柳、檜、葦、蓬、菱

口葦、柿、楡、長月、口大潮、荒潮

朝潮、満潮、睦月、望月、口菊月、若葉、初春、口日、初霜、三日月、口江風、涼風、山風、海風、口追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、呂六八、口伊六六、呂六四、伊六五、口呂六三、口呂六七、呂六五、口伊六〇、伊五九、口呂三四、呂三三

掃一一、掃一二

口真鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島、早瀬、野鳥

(雪風)、(磯風)、(伊一八)

【長崎】 羽黒

【元山】 浦波

【雄基】 口綾波

【作業地】 口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、長良、口嵯峨、千代田、勝力、八重山、駒橋、栗、梅、蓮、口夕風、朝風、口松風、朝風、口白霧、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風

伊六三

口隼、鴨、鴻、鶴、鷺、鳩、雉

口掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳

【航海中】

知床 (三日横須賀發)「ホノルル」()

口磐手、八雲 (四日横須賀發)「ホノルル」()

口白鷹 (十六日吳發)「豊後水道」()

口伊六二、伊六一、伊六四 (十六日吳發)「日向灘」()

石廊 (十六日羅府發)「ホノルル」()

口伊一、伊二、伊三 (十七日徳山發)「豊後水道」()

室戸 (十七日吳發)「佐伯」()

0928

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千三百四十號

昭和十四年十月十九日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二二九號ノ一〇 提 要
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

昭和十四年十月十九日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	舊 所 屬	新 所 屬	別 定 數	記 事
第三三六號	傳馬船 (十二米)	横須賀海兵團	海軍工機學校 附屬	臨時	
第三三六號	同	同	同	同	
第三三六號	同	同	同	同	

官房第三八四〇號ノ六 提 要
特務艦洲埼搭載第一、第二「カッター」及八米通船ヲ
雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通
定ム

海軍公報(部内限)第三千三百四十號

昭和十四年十月十九日

一一九九

昭和十四年十月十九日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	別 定 數	記 事
第一〇四號	カッター (九米)	横須賀海兵團	定數 補充 ノモノ	特務艦洲埼搭載
第二四號	同	同	同	同
第三三六號	傳馬船 (八米)	同	同	同

○通 牒

官房機密第六五二八號
昭和十四年十月十九日

提 要
登 載

部内一般宛
部内一般宛電報ノ速達ニ關スル件申進
部内一般宛ツル電報ノ速達ニ關シテハ左記ニ依ルコ
トニ定メラレ候

<p>追テ大正十五年官房機密第一〇九〇號平時部内一般宛令達方ニ關スル件ハ廢止セラレ候 (済) 記(速達)</p> <p>一、電報ノ種別ヲ次ノ二種トス</p>	<p>電報(宛名)ノ種別</p>	<p>部内各廳長</p>	<p>部内一般</p>	<p>備考</p>
<p>(二) 部外通信徑路ニ依ルモノ 要スレバ本文ノ初ニ「宛部内各廳長」(「アテカクテウ」)又ハ「宛部内一般」(「アラブナ」)及緩急順序ヲ示ス略語「緊急信」(「キウ」)「保安緊急信」(「ホキ」)又ハ「至急信」(「ウナ」)ヲ冠ス</p> <p>三、電報傳達通報要領 別表ノ區分ニ依リ各傳達擔任者又ハ同擔任廳長ハ電報ノ緩急順序、内容、被傳達通報各部トノ通信徑路等ヲ考慮シ機宜無(有)線電信電話信號文書等ヲ利用シ速ニ漏ナク傳達通報スルモノトス</p> <p>四、機密保持 機密保持ニ關シテハ關係各部ニ於テ留意スルモノトス 特ニ暗號電報及譯文ノ取扱ニ當リテハ暗號保護ニ關シ充分注意スルヲ要ス (別表一葉添)</p>	<p>解、義</p>	<p>部内各廳長ニ漏ナク通達ヲ要スルモノ</p>	<p>部内全般(一艦、一艇其ノ他關係ノ向ニ至ル迄)ニ通達ヲ要スルモノ</p>	<p>地方ヨリ發スル部内各廳長又ハ部内一般宛電報ハ速ニ海軍省電信課氣附トシテ發信シ之ガ處理ヲ依頼スルモノトス</p>

二、電報ノ形式
左記ノ外一般電報ノ形式ニ依ル
(一) 部内無(有)線通信系ニ依ルモノ
着信者ヲ「部内各廳長」又ハ「部内一般」(海軍無線交信規程ニ依ル廳(職)名符號ヲ使用)トス

官房第五三七七號
昭和十四年十月十八日
海軍省 副官
支那方面艦隊參謀長殿

<p>遣支艦隊英文公用語ノ件通知 十一月十五日附新編制ノ第一、第二、第三遣支艦隊ノ英文公用語ヲ左記ノ通定メラレタルニ付可然御取計相成度</p>	<p>記 固有 名 英文 名 略號 第一遣支艦隊 The First Fleet in China 1 C. F. 第二遣支艦隊 The Second Fleet in China 2 C. F. 第三遣支艦隊 The Third Fleet in China 3 C. F.</p>	<p>○辭令 海軍中佐 三和 義勇 同 鹿岡 圓平 第一課勤務ヲ命ス(ハルヲ海軍省軍務局) 軍令部出仕海軍大佐 岡田 爲次 第一課第二課勤務ヲ命ス 軍令部課長海軍大佐 西田 正雄 第三部第七課長兼務ヲ命ス 軍令部部員海軍少佐 天野 盛高 第四部第九課勤務ヲ命ス</p>	<p>軍令部出仕同 有泉 龍之助 第一部第二課勤務ヲ命ス(以上甘軍令部) 參謀部第八課長海軍大佐 西田 正雄 參謀部第三部第七課長兼務ヲ命ス 海軍少佐 天野 盛高 通信部第九課勤務ヲ命ス(以上甘軍令部) 大本營海軍部)</p>	<p>○雜款 ○司令驅逐艦一時變更 第十驅逐隊司令ハ十月十六日司令驅逐艦ヲ一時曉ヨリ 狹霧ニ變更、同日復歸セリ ○軍艦長鯨行動豫定 地名 著 發 横須賀 十月十七日 十月十六日 大阪 十月十七日 二十日 横須賀 二十一日</p>	<p>○郵便物發送先 軍艦長鯨宛 十月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 大 阪 其ノ後ハ 横須賀</p>
---	--	--	---	--	---

海軍公報(部内限)第三千三百四十號 昭和十四年十月十九日

(別表)

(昭和十四年十月十九日公報(部内限)別表)

備考	被傳達通報各部		傳達通報擔任應(者)	記	
	通信系ニ依ル區分	區分			
<p>一、傳達通報ヲ受クベキ各部ニシテ本表以外ノ徑路ニ依ルヲ便トスル場合ハ豫メ關係各部ト協定ノ上適宜變更スルコトヲ得、此ノ場合ハ關係ノ向ニ其ノ旨報告(通報)スルモノトス</p> <p>二、新設廳、派遣隊、出張所其ノ他及部内通信系ニ屬セザル各部ハ傳達通報要領ニ關シ本表ニ準ジ豫メ傳達通報擔任應(者)ト協定シ置クモノトス</p>	<p>部内通信系 所屬各部</p> <p>海軍無線通信規程ニ依ル</p>		<p>地方 人事部</p> <p>内地 監督官</p> <p>火藥本廠、同支廠</p> <p>燃料廠探炭部、同鑛業部、同實驗部</p> <p>軍港及其ノ隣接市町村以外ノ地ニ在ル病院、工廠等</p> <p>在外館附武官</p> <p>艦裝 定修理艦船員</p> <p>在外監督官、出張員、駐在員</p> <p>建設委員、設立準備委員、出張員等</p> <p>前記以外部内通信連絡ヲ有セザル各部</p>	<p>大臣官房 (海軍省電信課)</p>	<p>在京海軍官衙學校、部隊等ニ對シテハ大臣官房ヨリ文書、電話等ヲ以テ傳達通報スルモノトス</p>
	<p>最寄監督官</p> <p>當該國在動館附武官</p> <p>所屬廳</p> <p>所屬廳</p>	<p>無線艦所ト直接連絡シ得ル各部(同一地又ハ隣接市町村所在各部、在泊艦船等)ニ對シテハ最寄無線艦所ヨリ傳達通報スルモノトス</p>			

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月十九日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、高雄▲、陸奥、
鈴谷▲、愛宕、▽蒼龍、夕張、▽長門、▽鳥海、
摩耶、▽那珂、▽赤城、▽劍埼、迅鯨、
島風▲、灘風▲、夏雲▲、▽村雨、春雨、
夕立、五月雨、▽隴、潮、曙、▽天霧、
朝霧、夕霧

伊一二四、伊七

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】▽

沖島、五十鈴

汐風、波風、▽朝雲、山雲、▽響、電、

峯雲、澤風、雷、▽曉、帆風、狹霧、

▽野風、旗風、▽春風

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、▽呂五七、

呂五九、呂五八、▽伊五、伊四、伊二三

尻矢

【石川島】

沼風▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】

山城

【大湊】

葵▲、▽秋風、夕風

大泊

【函館】

▽菊▲、萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、
鳳翔、最上、殿島▲、古鷹、加古、鬼怒、
龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑、大井、
夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波▲、▽初雪、白雪▲、吹雪▲、▽東雲、
叢雲、薄雲、霞▲、▽蔽▲、矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊二二▲、
伊一二一▲、伊七〇、伊六九、伊八、
伊五五、伊五三、伊五四、▽伊七五、
伊七四、▽伊七三▲、伊七二▲、伊七一▲

攝津▲、明石▲、隠戸、間宮、佐多

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月▲

(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾

▽伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、
(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、
(伊一〇)▲

【神戶】

木曾

【大阪】

天龍▲、長鯨

【神戸】

木曾

海軍公報(部内限)第三千三百四十號

昭和十四年十月十九日

一一〇三

【相生】 神風、**呂芙蓉**、**朝顔**、**刈萱**▲

鶴見

(初鷹)▲

【玉】 **呂六二**▲

【因ノ島】 **呂文月**、**水無月**、**皐月**▲

【江田内】 **平戸**▲

【佐伯】 **室戸**

【亀川】 **白鷹**

伊一、**伊二**、**伊三**

【舞鶴】 **吾妻**、**多摩**、**利根**、**筑摩**

白雲、**羽風**、**太刀風**

伊五二

(陽炎)▲、(親潮)▲

【佐世保】 **常磐**、**那智**、**青葉**、**衣笠**、**加賀**、**能登**、**呂**

龍田、**千歳**、**榛名**、**名取**、**阿武隈**、

由良、**川内**、**飛龍**、**霧島**、**金剛**

梨、**竹**、**榎**、**桃**、**柳**、**檜**、**菫**、**蓬**、**菱**、

葦、**柿**、**楡**、**長月**、**大潮**、**荒潮**、

朝潮、**滿潮**、**睦月**、**望月**、**菊月**、**若葉**、

初春、**子日**、**初霜**、**三日月**、**江風**、

涼風、**山風**、**海風**、**追風**、**疾風**

呂三〇、**呂三一**、**呂三二**、**呂六〇**、**呂六一**▲

呂六六、**呂六八**、**伊六六**▲、**呂六四**、

伊六五、**呂六三**、**呂六七**、**呂六五**、

伊六〇、**伊五九**、**呂三四**、**呂三三**、

掃一一、**掃一二**

【真鶴】 **千鳥**、**友鶴**、**初雁**▲

敷島、**早鞆**

(雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長崎】 **羽黒**▲

【長門】 **浦波**

【雄基】 **綾波**

【ホノルル】 **磐手**、**八雲**

知床

【作業地】 **出雲**、**安宅**、**鳥羽**、**勢多**、**堅田**、**比良**、**保津**、

熱海、**二見**、**伏見**、**瑞穂**、**球磨**、**妙高**、

長良、**嵯峨**、**千代田**、**勝力**、**八重山**、**駒橋**、

栗、**梅**、**蓮**、**夕風**、**朝風**、**松風**、**朝風**、

白鷺、**有明**、**夕暮**、**時雨**、**峯風**、**沖風**

伊六三

伊華、**鴨**、**鴻**、**鶴**、**鷺**、**鳩**、**雉**

掃三、**掃六**、**掃一**、**掃二**、**掃四**、**掃五**、

掃一五、**掃一三**、**掃一四**、**掃一六**、

掃一七、**掃一八**、**掃一〇**、**掃八**、**掃九**、

掃七、**朝日**、**襟裳**、**野島**

【航海中】

伊六二、**伊六一**、**伊六四** (十六日吳發上日向灘へ)

石廊 (十六日羅府發上「ホノルル」へ)

海軍公報

(部内限)第三千三百四十一號

昭和十四年十月三十一日(土)
海軍大臣官房

○ 辭 令

特別俸ヲ賜フ

海軍大佐 鈴木 義尾

同 西村 祥治

軍艦金剛在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ

海軍艦政本部造船監督官兼
造兵監督官海軍航空本部造
兵監督官海軍造船中佐

葉谷 英彦

八幡監理長ヲ命ス(以上計四海軍省)

海軍大尉 西村 春芳

第二課勤務ヲ命ス(計四海軍省人事局)

海軍機關少佐 平松 義雄

第二課勤務ヲ命ス(計五海軍省軍需局)

○ 雜 款

○着任、退應

新任 海軍省 海軍少將 阿部 勝雄 本月十八日着任

前任 同 同 井上 成美 同 十九日退應

海軍公報(部内限)第三千三百四十一號

昭和十四年十月三十一日

一一〇五

○旗艦復歸
第一根據地隊司令官ハ十月十八日旗艦ヲ飛鳥ヨリ朝日
ニ復歸セリ

○特務艦室戸行動豫定

地名	着	發
吳	十一月三	十一月一
横	十一月八	十一月五
大	十一月十三	十一月十
横	十一月十九	十一月十五
佐	十一月二十一	十一月十八
横	十一月二十七	十一月二十四
佐	十二月三	十二月二十九
吳	十二月六	十二月五日

○郵便物發送先
特務艦室戸宛

十月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
十一月四日迄ニ同	横
十一月九日迄ニ同	大
十一月十四日迄ニ同	横
	須
	賀

同十九日迄ニ同 佐世保
 同二十三日迄ニ同 吳須賀
 同二十八日迄ニ同 横須賀
 十二月四日迄ニ同 佐世保
 其ノ後ハ 吳

第十三潜水隊司令及伊號第二百二十一潜水艦宛

十月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ 佐伯
 同二十七日迄ニ同 宇和島
 其ノ後ハ 吳

伊號第二百二十二潜水艦宛

十月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ 宇野
 同二十七日迄ニ同 輅
 其ノ後ハ 吳
 追テ當隊司令宛書類ニテ伊號第二百二十二潜水艦ニ
 關係アルモノハ寫ヲ直接同艦宛送付相成度
 (第十三潜水隊)

○赴任者ニ關スル件

准士官以上ニテ當司令部、第十四航空隊、第十五航空
 隊(豫定者)第二航空廠(豫定者)ヘノ赴任者ハ臺灣
 着後臺北在勤海軍武官ニ問合セノ上旅行相成度
 (第三聯合航空隊)

○概算拂旅費ニ關スル件照會

本年經給第六六號ヲ以テ支那ニ對スル旅費ノ特例ニ關

スル件通牒セラレ候處當隊ヘノ轉勤者ハ上海以後官用
 飛行機便ヲ利用スルコト多ク爲ニ各部ニ於テ概算拂ノ
 旅費ハ殆ド過拂トナリ歳入ニ納付スルコト、ナルヲ以
 テ自今旅費支給ノ際ハ上海迄ノ定額ニ依リ概算拂ノコ
 トニ御取計相成度
 (第十三航空隊)

○事務所設置

羅津防備隊(假稱)設立準備員事務所ヲ鎮海防備隊内
 ニ設置シ十月十二日ヨリ事務ヲ開始セリ

○學生入隊期日

近ク任命豫定ノ海軍練習航空隊整備學生ハ十一月八日
 (水)〇九三〇始業式ニ付其ノ前日迄ニ入隊セシメラ
 レ度
 (横須賀海軍航空隊)

○艦船所在

指印ハハホ
定タ要セズ

○十月二十一日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、高雄▲、陸奥、
鈴谷▲、愛宕、▽蒼龍、夕張、□長門、□鳥海、
摩耶、▽那珂、▽赤城、▽劍埼、迅鯨、
山城

島風▲、灘風▲、夏雲▲、□村雨、春雨、
夕立、五月雨、□朧、潮、曙、□天霧、
朝霧、夕霧、峯雲

伊一二四、伊七

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

沖島、五十鈴

汐風、波風、□朝雲、山雲、□響、電、
澤風、雷、□曉、帆風、狹霧、□野風、
旗風、□春風

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、□呂五七、
呂五九、呂五八、□伊五、伊四、伊二三

尻矢

沼風▲

【石川島】

沼風▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

北上▲

【浦賀】

漣▲

(不知火)▲、(早潮)▲

【大湊】

葵▲、□秋風、夕風

大泊

【函館】

□菊▲、萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡、神通、日向、熊野、
鳳翔、最上、殿島、古鷹、加古、鬼怒、
龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑、大井、白鷹

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波、□初雪、白雪▲、吹雪▲、□東雲、
叢雲、薄雲、霞▲、□霞▲、矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊七〇、伊六九、
伊八、□伊五五、伊五三、伊五四、□伊七五、
伊七四、□伊七三▲、伊七二▲、伊七一▲、
伊六一、伊二、伊三、□伊六二、伊六一、
伊六四

雁

攝津▲、明石▲、隱戸、間宮、佐多

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲

□彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月▲

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

木曾

□伊六八▲、□伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、
(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、
(伊一〇)▲

【相生】神風、口芙蓉、朝顔、刈萱

鶴見

(初懸)

【玉】呂六二

【因ノ島】口文月、水無月、卓月

【江田内】平戸

【宇品】伊一二二

【佐伯】室戸

【龜川】伊一二二

【舞鶴】吾妻、多摩、利根、筑摩

白雲、羽風、太刀風

伊五二

(陽炎)、(親潮)、(天津風)

【佐世保】常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、飛龍、霧島、金剛、梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、朝潮、滿潮、望月、大湖、荒潮、初春、子日、初霜、三日月、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、呂六八、伊六六、呂六四、伊六五、呂六三、呂六七、呂六五、伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三、掃一一、掃一二

【真鶴】千鳥、友鶴、初雁

敷島、早鞆

(雪風)、(磯風)、(伊一八)

【長崎】羽黒

【鎮海】浦波

【雄基】綾波

【ホノルル】磐手、八雲

知床

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、駒橋、栗、梅、選、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風

伊六三

【華、鴨、鴻、鶴、鷺、鳩、雉】

掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳、野島

【航海中】

石廊(十六日羅府發)「ホノルル」

長鯨(二十日大阪發)「横須賀」

0938

(限 内 部)

廢

海軍公報

(部内限) 第三千三百四十二號

昭和十四年十月二十四日(火)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一七五四號ノ一六

稅 要

昭和十四年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十四年十月十一日

歳出臨時部

海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
艦船救難費	伊號第六十三 潜水艦救難費				エテ
	監督諸費				エサ
	造船費				エキ

官房機密第六一〇二號ノ二 昭和十四年十月二十四日
 特設海軍航空廠ニ要スル經費ハ支那方面艦隊經費支辨
 トシ全廠ノ給與及其他ノ經費支拂ハ全廠部員タル主

海軍公報(部内限) 第三千三百四十二號

昭和十四年十月二十四日

二二〇九

計科士官ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十四年十月十五日

海軍大臣

官房第五四二一號

稅 要

臨時軍事實費特別會計歳入科目中左ノ通追加ス

昭和十四年十月二十四日

海軍大臣

款	項	目	節	解	疏	會計科目 電信略號
(軍資金)	(軍資金)	(雜入)	雜	收		メ六

○ 通 牒

官房機密第一三號ノ五九

昭和十四年十月二十四日

海軍省 副官

海軍公報(部内限)第三千三百四十二號

昭和十四年十月二十四日

一一一〇

各鎮守府副官
舞鶴要港部副官
兵器簿ノ件通知

各艦船部隊學校兵器簿通信長主管受信卓照明装置之部
中左記ノ通改正セラレ候

舊				新			
品名	數稱	常備數		品名	數稱	常備數	
		常用	補用			常用	補用
受信卓照明燈 六(一〇)V	個			受信卓照明燈 接續坐共	個		
内譯				受信卓照明燈 接續坐共	個		
ピ式一燭電球 五(一〇)V 〇・三六AV	個		三	ピ式一燭電球 〇・三六AV	個		
接續坐 小改一 コト付	個		一	ピ式一燭電球 〇・一八AV	個		
接續坐 小改一	個		一				
雜記 内譯ハ受信卓照明燈一個ニ對スル數ヲ掲グ				雜記 電球數ハ受信卓照明燈常用數ト同數ヲ常用欄ニ其ノ三倍ヲ補用欄ニ記入ノコト			

經豫機密第三號ノ二二一

昭和十四年十月二十四日

海軍省 經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

支出官又ハ資金前渡官吏ガ軍用手票ノ

拂出ヲ受クル日本銀行代理店並ニ日本
通貨ト軍用手票ノ引換ヲ爲ス日本銀行
代理店ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ疑ニ通牒候處今般更ニ日本銀行油
頭代理店ニ於テモ右ノ取扱ヲ受ケ得ルコトト相成候條
了知相成度

○ 辭 令

第三課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)
海軍機關少佐 伊藤 喜六
補給部勤務ヲ命ス(海軍省航空本部)
海軍少佐 下田 久夫

○ 雜 款

○將旗移揚
第五艦隊司令長官ハ十月二十日將旗ヲ一時第十八號掃海艇ニ移揚、同二十三日妙高ニ復歸セリ

○司令驅逐艦變更
第十一驅逐隊司令ハ十月二十日司令驅逐艦ヲ初雪ヨリ吹雪ニ變更セリ

○司令驅逐艦一時變更
第二十二驅逐隊司令ハ十月十八日司令驅逐艦ヲ一時文月ヨリ長月ニ變更セリ

○司令驅逐艦指定
第三十驅逐隊司令ハ十月二十一日司令驅逐艦ヲ望月ニ指定セリ

○司令掃海艇復歸
第十二掃海隊司令ハ十月二十三日司令掃海艇ヲ第十八號掃海艇ヨリ第十七號掃海艇ニ復歸セリ

○郵便物發送先
高雄海軍航空隊宛

自今
但シ航空郵便ハ第七海軍々用郵便所氣付
道テ内地トノ交通極メテ不便ニ付至急ヲ要スル書
類ハ電報又ハ航空郵便ヲ以テセラレ度
高雄海軍航空隊殘留隊宛
從 前 通

本日普通公報發行セズ

○艦船所在

指印ハハホ
定ヲ要セズ

○十月二十四日午前十時調

【横須賀】

春日▲神威▲三隈▲足柄▲高雄▲陸奥、
鈴谷▲愛宕、▽蒼龍、夕張、長門、島海、
摩耶、▽那珂、▽赤城、▽劍埼、迅鯨、
山城、長鯨、駒橋

島風▲灘風▲夏雲▲村雨、春雨、
夕立▲五月雨▲隴▲潮、曙、天霧、
朝霧、夕霧、峯雲

伊一二四▲伊七▲
富士▲膠州、洲埼、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

沖島、五十鈴
汐風、波風、朝雲、山雲、響、雷、
電、澤風、曉、帆風、狭霧、野風、
旗風、春風

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、呂五七、
呂五九、呂五八、伊五、伊四、伊二三

【石川島】

沼風▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲

【大湊】

(不知火)▲、(早潮)▲
葵▲、秋風、夕風

【函館】

大泊
矢菊▲萩▲

【吳】

鳳翔、最上、嚴島、古鷹、加古、鬼怒、
龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑、大井、白鷹、
夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波、白雪、吹雪、東雲、叢雲、
薄雲、霞、霞

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、
呂二八、伊五一、伊六七、伊七〇、伊六九、
伊八、伊五五、伊五三、伊五四、伊七五、
伊七四、伊七三、伊七二、伊七一、
伊六一、伊二、伊三、伊六二、伊六一、
伊六四

攝津、明石、隱戸、間宮、佐多、室戸

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲
矢風

【紀伊水道】

雁

【大阪】

天龍▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

【神戸】

木曾▲

伊六八▲、伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲
(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、
(伊一〇)▲

海軍公報(部内限) 第三千三百四十二號

昭和十四年十月二十四日

一三三

【相生】

神風、芙蓉、朝顔、刈萱、鶴見

【玉】

(初鷹) 呂六二

【因ノ島】

文月、水無月、阜月

【高松】

伊一二二

【江田内】

平戸

【佐伯】

伊一二一

【舞鶴】

吾妻、多摩、利根、筑摩、白雲、羽風、太刀風、伊五二

【佐世保】

(陽炎) (親潮) (天津風) 常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、名取、阿武隈、山良、川内、飛龍、霧島、金剛、梨、竹、雁、桃、柳、檜、蕨、蓬、菱、葦、柿、楡、長月、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、望月、睦月、菊月、三日月、若葉、初春、子日、初霜、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、呂六八、伊六六六、呂六四、伊六五、呂六三、呂六七、呂六五、伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三、掃一一、掃一二、眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

【長崎】

敷島、早鞆、(雪風)、(磯風)、(伊一八)

【鎮海】

浦波、(雄基)、綾波、(ホノルル)、磐手、八雲、知床

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、栗、榎、遠、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕春、時雨、峯風、沖風、伊六三、隼、鶴、鷲、鷲、鳩、雄、掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七、朝日、襟裳、野島

【航海中】

石廊 (十六日羅府發「ホノルル」) 初雪 (二十三日吳發「土佐沖」) 尻矢 (二十三日長浦發「羅府」)

海軍公報

(部内限)第三千三百四十三號

海軍大臣官房

昭和十四年十月二十五日(水)

○令 達

官房機密第六六一六號

機 要

昭和十三年官房機密第五〇二六號ニ依リ昭和十四年度ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス

昭和十四年十月二十五日

海 軍 大 臣

表中航空術ノ部

操縦(採用)ノ項中

「三四〇」ヲ「三七〇」

ニ「三〇〇」ヲ「二一五」ニ「三〇〇」ヲ「三一五」

ニ改メ「佐世保鎮守府」ノ下ニ「舞鶴鎮守府(假稱)四〇」ヲ加フ

昭和十三年九月十五日
昭和十三年十二月十四日
昭和十四年七月二十五日
昭和十四年九月一日
本欄参照

官房第五四四一號

機 要

本年十月二十五日驅逐隊編制中改正施行ノ際現ニ第四

驅逐隊ノ職員タル者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第三十四驅逐隊ノ各相當職員ニ補セラレタル義ト心得ベシ

昭和十四年十月二十五日

海 軍 大 臣

○辭 令

海軍少將 阿部 勝雄

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

文官普通分限委員會委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

思想調査委員會委員ヲ命ス

二千六百年委員會委員ヲ命ス

海軍服制研究調査會委員長ヲ命ス

陸海軍軍需工業動員協定委員會委員長ヲ命ス

燃料政策調査會委員ヲ命ス

軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス

海軍公報(部内限)第三千三百四十三號

昭和十四年十月二十五日

一一一五

海軍懲罰令改正委員會委員ヲ命ス
 軍需品平時生産協定中央委員會委員長ヲ命ス
 支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス(十月五日海軍省)

○雜款

○司令掃海艇一時變更
 第十二掃海隊司令ハ十月十一日司令掃海艇ヲ一時第十
 七號掃海艇ヨリ第十八號掃海艇ニ變更セリ

○軍艦長鯨行動豫定

地名 着 發
 横須賀 十月二十七日 十月二十五日
 吳 十月二十七日

○驅逐艦菊行動豫定

地名 着 發
 函館 十月三十一日
 横須賀 十一月二日 四月
 吳 六月六日

○特設運送船朝光丸行動豫定

地名 着 發
 吳 十月二十五日 十月二十七日
 横須賀 十一月二十九日 十一月五日
 吳 十一月七日 七日

因ノ島	十二月八日	十二月三十日
吳	十二月二日	十二月一日
西戶崎	十二月四日	十二月三日
佐世保	十二月七日	十二月五日
鎮南浦	十二月十八日	十二月十四日
馬公	十二月二十八日	十二月二十四日
佐世保	十二月三十一日	十二月三十日
吳		

○郵便物發送先
 軍艦長鯨宛
 自今

第十四驅逐隊司令宛
 十一月一日以後到達見込ノモノハ

機關長宛
 驅逐艦菊宛

十月三十日迄ニ到達見込ノモノハ
 十一月三日迄ニ同

第三十水潛隊宛
 自今

伊號第六十五、六十六潛水艦宛
 伊號第六十七潛水艦宛

特設運送船朝光丸宛

從前通

吳 菊 葵 吳 横 須 賀 館
 吳 佐 世 保
 吳 佐 世 保

十月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
十一月四日迄ニ	横須賀
同 三十日迄ニ	土生
十二月三日迄ニ	西戸崎
同 十三日迄ニ	鎮南
同 二十三日迄ニ	馬南浦
同 二十九日迄ニ	佐世保
其ノ後ハ	吳

○學生入隊期日
 來十一月十五日任命セラルベキ練習航空隊飛行學生ハ十一月二十二日正午迄ニ霞ヶ浦海軍航空隊ニ入隊セシメラレ度

(第十一聯合航空隊)

○兵備品供給還納方ニ關スル件照會
 諸設備完成迄舞鶴鎮守府(假稱)所管トナルヘキ艦船ノ文庫關係兵備品ハ原所管ノ文庫ニ於テ受込又ハ還納整備ノ上回航セラルル様御取計相成度
 (舞鶴鎮守府文庫(假稱)設立準備員)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十五日午前十時調

【横須賀】

春日▲神威▲三隈▲足柄▲高雄▲陸奥、
鈴谷▲愛宕、▽蒼龍、夕張、口長門、口鳥海、
摩耶、▽那珂、▽赤城、▽劍埼、迅鯨、
山城、長鯨、駒橋

島風▲灘風▲夏雲▲峯雲、口村雨、春雨、
夕立▲五月雨▲口隴▲潮、曙、口天霧、
朝霧、夕霧

伊一二四▲伊七

富士▲膠州、洲埼▲鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

沖島、五十鈴

沙風、口野風、波風、口朝雲、山雲、口響、
雷、電、口曉、帆風、狹霧、口春風、旗風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
呂五九、呂五八、口伊五、伊四、伊二三

【石川島】

沼風▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲、口秋風、夕風

【相生】

神風▲、口芙蓉▲、朝顔▲、刈萱▲

【相見】

鶴見▲

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲神通▲日向▲熊野▲、
鳳翔、最上、嚴島▲古鷹、加古、鬼怒、
龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑、大井

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波▲、口吹雪、白雪、初雪、口東雲、
叢雲、薄雲、霞▲、口叢▲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊七〇、伊六九、
伊八、口伊五五、伊五三、伊五四、口伊七五、
伊七四、口伊七三▲、伊七二▲、伊七一▲、
攝津▲、明石▲、隠戸、間宮、佐多

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

矢風

【大阪】

天龍▲

【神戸】

木曾▲

【相生】

神風▲、口芙蓉▲、朝顔▲、刈萱▲

【相見】

鶴見▲

【相生】

神風▲、口芙蓉▲、朝顔▲、刈萱▲

【相見】

鶴見▲

【相生】

神風▲、口芙蓉▲、朝顔▲、刈萱▲

【相見】

鶴見▲

海軍公報(部内限)第三千三百四十三號

昭和十四年十月二十五日

一一一九

【初鷹】▲
 玉 ▲ 呂六二▲
 宇野 ▲ 伊一二三▲
 【因ノ島】 文月▲、水無月▲、阜月▲
 【小豆島】 伊一二二▲
 【江田内】 平戸▲
 【佐伯】 室戸▲
 【舞鶴】 吾妻▲、多摩▲、利根▲、筑摩▲
 白雲▲、羽風▲、太刀風▲
 伊五二▲
 【佐世保】 (陽炎)▲、(親潮)▲、(天津風)▲
 常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登、呂
 龍田、千歲、榛名▲、名取、阿武隈、
 由良、川内、飛龍、霧島、金剛
 梨、竹、樵、桃、柳、檜、董、蓼、蓬、菱、
 萩▲、柿▲、楡▲、初春、長月、大潮▲
 荒潮▲、朝潮▲、滿潮▲、望月、朧月、
 菊月、三日月、若葉、子日、初霜▲
 江風、涼風、山風、海風、追風、疾風
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一▲
 呂六六、呂六八、伊六六▲、呂六四、
 伊六五▲、呂六三、呂六七、呂六五、
 伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三、
 掃一一、掃一二▲
 眞鶴、千鳥、友鶴▲、初雁▲

【航海中】
 石廊 (十六日羅府發「ホノルル」へ)
 磐手、八雲、知床 (二十三日「ホノルル」發「ヒ
 ロ」へ)
 尻矢 (二十三日長浦發「羅府」へ)
 白鷹 (二十四日吳發「豊後水道」へ)
 伊一、伊二、伊三 (二十四日吳發「安下庄」へ)
 伊六二、伊六一、伊六四 (二十四日吳發「日向灘」へ)

【長崎】 敷島▲、早鞆▲
 (雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲
 羽黒▲
 【鎮海】 浦波▲
 【西水羅】 綾波▲
 【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、
 熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、
 長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、
 栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、
 白霧、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風、
 伊六三▲
 隼、鴨、鴻、鶴、鷲、鳩、雉
 掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、
 掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、
 掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、
 掃七
 朝日、襟裳、野島

海軍公報 (部内限) 第三千三百四十四號

昭和十四年十月二十六日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第六六一七號 授 粟
當分ノ間歐羅巴各國ニ出張中ノ造船監督助手、造兵監督助手及造船造兵監督書記ハ兼テ當該國在勤帝國大公使館附海軍武官ノ命ヲ承ケ服務スベシ

昭和十四年十月二十五日

海軍大臣

官房機密第六六四八號 授 粟
横須賀及吳鎮守府在籍ノ特務士官、准士官、下士官、兵及海軍豫備員(豫備准士官、下士官及兵)並ニ海軍豫備員候補者中左記ニ依リ其ノ兵籍ヲ舞鶴鎮守府(假稱)ニ轉換セシム

昭和十四年十月二十六日

海軍大臣

記
一、兵籍ヲ轉換スベキ者

(一) 特務士官、准士官、下士官及兵
昭和十四年四月一日現在ニ於テ山形、新潟、富山、石川、福井、滋賀縣及京都府ヲ本籍地トセル左ノ該當者及昭和十四年四月一日以降本年中新ニ現役編入ノ者並ニ昭和十四年十二月一日及同十五年六月一日新ニ兵籍編入ノ徵兵ニシテ編入時右府縣ヲ本籍地トスルモノ

區分	種 類		人員	記 事
	役	種		
特務士官	現役	豫備役、後備役	全員	海軍短期現役兵用第一國民兵役ヲ含ム
	退役	後備役		
准士官	現役	豫備役、後備役	全員	海軍短期現役兵用第一國民兵役ヲ含ム
	退役	後備役		
下士官	現役	豫備役、後備役	全員	海軍短期現役兵用第一國民兵役ヲ含ム
	退役	後備役		
兵	現役	豫備役、後備役	全員	海軍短期現役兵用第一國民兵役ヲ含ム
	退役	後備役		

(二) 海軍豫備員及海軍豫備員候補者

(イ) 富山商船學校出身豫備准士官及豫備下士官並ニ同校生徒タル豫備練習生

(ロ) 舞鶴工廠出身ノ豫備兵及豫備練習生

(ハ) 富山縣ニテ採用ノ豫備兵及豫備補習生
二、兵籍轉換期日

昭和十四年十二月一日トス但シ海軍豫備員及海軍豫備員候補者ハ昭和十五年四月一日トス
前項ノ如ク定ムルモ特別ノ事由ニ依リ同日附實施困難ナル者ニ在リテハ昭和十五年十二月一日迄ノ間ニ於テ隨時兵籍ヲ轉換セシムルコトヲ得

○ 通 牒

官房第五四三九號

昭和十四年十月二十五日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

東京方面ニ於ケル住宅斡旋ニ關スル件照會

本年度定期異動ノ際在京各廳ニ轉動スル海軍部内者ノ住宅取得ヲ圓滑ナラシムル爲當省人事局第二課ニ臨時住宅斡旋部ヲ設ケ左記ニ依リ貸借家屋ヲ斡旋セシメラルルコトト相成候條御了知ノ上關係者ヲシテ可然處置セシメラレ度

追テ目下東京方面ニ於テハ適當ナル住宅拂底ノ際ニ

付轉勤等ノ爲同方面所在ノ住宅空ク場合ハ極力海軍部内者ニ之ヲ讓渡スルコトト致度尙臨時住宅斡旋部ハ本年十二月末日ヲ以テ之ヲ廢止セラルル豫定ニ付申添候

記

事 項

東京方面所在ノ住宅ヨリ他へ移轉スル場合及同方面ニ所在スル適當ナル貸家ヲ承知スル場合

關係者ノ處置

直接臨時住宅斡旋部ニ左ノ事項ヲ速ニ通知スルモノトス
一、所在位置及家主
二、屋敷及家屋ノ概要(間取、間敷等)
三、家賃、敷金等
四、其ノ他參考事項

臨時住宅處置

實地檢分ノ上適當ト認ムルモノニ對シテハ手附金ヲ交付シ借入レテ豫約ス

在京各廳へノ轉勤者ニシテ東京方面ニ住宅(借家)ヲ必要トスル場合

希望事項ヲ揚テ借家斡旋部ニ速ニ依頼ス

借家ヲ按配スルコトヲ得次第其ノ旨速ニ依頼者ニ連絡ス

○ 辭 令

海軍中將 豊田 副武

海軍武官任用委員ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス

<p>海軍中將 近藤 信竹 海軍武功調査委員ヲ命ス<small>(海軍省)</small></p> <p>海軍主計少佐 山本 正良 第一航空廠ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス</p> <p>同 行藤 延生 第二航空廠ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス<small>(以上支那方面)</small> 支官海軍省經理局長</p>	<p>○雜款</p> <p>○旗艦變更 第一根據地隊司令官ハ本月十八日旗艦ヲ飛鳥ヨリ朝日ニ變更セリ</p> <p>○司令潜水艦變更 第三十潜水隊司令ハ十月二十四日司令潜水艦ヲ伊號第六十六潜水艦ヨリ伊號第六十七潜水艦ニ變更セリ</p> <p>○郵便物發送先 第一根據地隊司令部宛 自今 佐世保郵便局氣付 朝日</p>
<p>第二十七驅逐隊(各艦)宛 十一月一日以降 佐世保</p> <p>驅逐艦矢風宛 十月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 其ノ後ハ 和歌ノ浦 吳</p> <p>第二十一水雷隊司令宛 眞 鶴 機關長宛 雁 鶴 軍醫長、主計長宛 友 鶴 自今 佐世保郵便局氣付</p>	<p>○郵便物發送先變更 第十五號掃海艇宛 自今 第三軍用郵便所氣付</p> <p>○正誤 官房機密第六五二八號部内一般宛電報ノ速達ニ關スル件追書中「令達」ノ下ニ「速達」ヲ脱ス (十月十九日本欄参照)</p>

海軍公報(部内限) 第三千三百四十四號

昭和十四年十月二十六日

一三三三

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、高雄▲、陸奥、
鈴谷、愛宕、▽蒼龍、夕張、□長門、□島海▲、
摩耶、▽那珂、▽赤城、▽劍埼、迅鯨、
山城、長鯨、駒橋

島風▲、灘風▲、夏雲▲、峯雲、□村雨、春雨、
夕立▲、五月雨▲、□朧▲、潮、曙、□天霧、
朝霧、夕霧

伊一二四▲、伊七▲

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

△沖島、五十鈴

沙風、□野風、波風、□朝雲、山雲、□響、
雷、電、□曉、帆風、狹霧、□春風、旗風、
呂五四、呂五五、呂五六、伊六、□呂五七、
呂五九、呂五八、□伊五、伊四、伊二三

【石川島】

沼風▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲ (不知火)▲、(早潮)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲、□秋風、夕風

【函館】

大泊 矢野▲、萩▲

【吳】

鳳翔、最上、嚴島▲、古鷹、加古、鬼怒、
龍驤、▽大鯨、伊勢、扶桑、大井、
夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波▲、□吹雪、白雪、初雪、□東雲、
叢雲、薄雲、霞▲、□掖▲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊七〇、伊六九、
伊八、□伊五五、伊五三、伊五四、□伊七五、
伊七四、□伊七三▲、伊七二▲、伊七一▲、
攝津▲、明石▲、隠戸、間宮、佐多

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

雁 矢風

【紀伊水道】

【大阪】

天龍▲

□彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

木曾▲

□伊六八▲、□伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、
(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、
(伊一〇)▲

【相生】

神風▲、□芙蓉▲、朝顔▲、刈萱▲

鶴見▲

【玉】 呂六二▲
 【宇野】 伊一二二
 【因ノ島】 文月▲、水無月▲、皁月▲
 【江田内】 平戸▲
 【白杵灣】 伊一二二
 【舞鶴】 吾妻▲、多摩▲、利根▲、筑摩▲
 白雲▲、羽風▲、太刀風▲
 伊五二

【佐世保】 (陽炎)▲、(親潮)▲、(天津風)▲
 常磐▲、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、
 龍田▲、千歳▲、榛名▲、名取▲、阿武隈、
 由良、川内、飛龍、霧島、金剛
 梨、竹、樞、桃、柳、檜、葦、蓬、菱、
 萩▲、柿▲、楡▲、初春、長月、大潮▲
 荒潮▲、朝潮▲、満潮▲、望月、睦月、
 菊月、三月月、江風、涼風、山風、
 海風、追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一▲
 呂六六、呂六八、伊六六▲、呂六四、
 伊六五▲、呂六三、呂六七、呂六五、
 伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三
 掃一一、掃一二
 眞鶴、千鳥、友鶴、初雁
 敷島▲、早鞆
 (雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲
 【鎮海】 浦波
 【西水羅】 綾波
 【ヒロ】 磐手、八雲
 知床

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、
 熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、
 長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、
 栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、
 白鷺、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風
 若葉、子日、初霜
 伊六三

伊集、鴨、鴻、鶴、鷺、鳩、雉
 掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、
 掃一五、掃二三、掃一四、掃一六、
 掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、
 掃七
 朝日、襟裳、野島

【航海中】
 石廊 (十六日羅府發「ホノルル」へ)
 尻矢 (二十三日長浦發「羅府」へ)
 白鷹 (二十四日吳發「豊後水道」へ)
 伊一、伊二、伊三 (二十四日吳發「安下庄」へ)
 伊六二、伊六一、伊六四 (二十四日吳發「日向灘」へ)
 室戸 (二十六日佐伯發「吳」へ)

(限 内 部)

0953

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和十四年十月二十六日(木)
海軍大臣官房

官房第四二六〇號ノ四
昭和十四年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十四年十月二十五日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	記 事	
			定 數 別	製 造 訓 令 番 號
第〇四號	内火ランチ (十二米)	宇佐海軍航空隊	定數補充	墨田川造船所 契約納入場所 横須賀工廠
第〇四號	同	博多海軍航空隊 (假稱)	同	同
第〇五號	同	馬公要港部 (第三根據地隊司令部供用)	臨時附屬	同
第〇六號	同	千歳海軍航空隊	定數補充	同
第〇七號	同	美幌海軍航空隊 (假稱)	同	同
				竣工、納入 豫定期日
				備 考
				四月二十八日
				八月三十日
				十二月二十四日
				二月二十八日
				昭和十四年
				八月三十日

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

第二〇七號	第二〇六號	第二〇五號	第二〇四號	第二〇三號	第二〇二號	第二〇一號	第二〇〇號	第一九九號	第一九八號	第一九七號	第一九六號	第一九五號	第一九四號	第一九三號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)
横須賀海兵團	同	同	同	同	同	海軍兵學校	同	同	同	同	吳海兵團	同	元山海軍航空隊 (假稱)	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
墨田川造船所	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	宇品造船所	同	官房機密第四一七二號鎮海要 港部司令官三訓令	同
横須賀工廠	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	吳工廠	同	官房機密第四一七三號馬公要 港部司令官三訓令	同
同 十二月二十四日	同	同	同	同 十月三十一日	同	同 九月三十日	同	同 八月三十一日	同	同	同 七月三十四年	同	同	同 九月三十日

三

第二〇六號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第二〇五號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第二〇四號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第二〇三號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第二〇二號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第二〇一號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第二〇〇號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第一九九號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第一九八號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第一九七號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第一九六號	同	(同)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

○正誤



八月十七日部内限號外令達官房第四二六〇號ノ二公稱第三六二七號ノ項中「第二〇九五號」ハ「第二〇九二號」ニ、九月二十六日部内限號外令達官房第一五九五號ノ五公稱第三七八〇號ノ項中「鶴見製鐵會社」ハ「大阪鐵工所」ニ、十月九日部内限令達官房第二二九九號ノ八公稱番號隊欄中「第二二二九號」ハ「第二二二〇號」ノ誤

海軍公報

(部内限) 第三千三百四十五號

海軍大臣官房

昭和十四年十月二十七日(金)

○通牒

航本機密第一〇八九八號
昭和十一年航本機密第二〇九七號別冊飛行機計畫要領
書中別紙ノ通改正ス
別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス
昭和十四年十月二十六日

海軍航空本部長

○辭令

海軍技術會議議員海軍大佐 吉良 俊一
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

海軍中尉伯爵 伏見 博英

海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス(以上計五名海
軍省)

海軍中尉伯爵 伏見 博英

第二課勤務ヲ命ス(計四海軍省人事局)

廣東特務部ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費
分任出納官吏ヲ命ス
海軍主計少佐 青山 久二

同 池田 晴男

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上計四支出官海軍省經
理局長)

總務部第二課勤務ヲ命ス
海軍主計少佐 池田 晴男

八幡地方ノ監督任務ニ從事スヘシ(以上計四海軍航
空本部)
海軍造船中佐 葉谷 英彦

○雜款

○旗艦變更
橫須賀防備戰隊司令官ハ十月二十二日旗艦ヲ沖島ヨリ
響ニ變更セリ

海軍公報(部内限) 第三千三百四十五號

昭和十四年十月二十七日

一三三七

<p>○司令驅逐艦一時變更 第十驅逐隊司令ハ十月二十四日司令驅逐艦ヲ一時曉ヨリ狹霧ニ變更、同日復歸セリ</p>	<p>○軍艦駒橋行動豫定變更 地名 着 發 横須賀 十一月五日 十月二十七日 基隆 十一月五日 十一月七日 横須賀 二十日</p>	<p>○郵便物發送先變更 軍艦駒橋宛 十一月六日迄ニ到達見込ノモノハ 基隆 其ノ後ハ 横須賀</p>	<p>○郵便物發送先 軍艦初鷹宛 十月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 兵庫縣赤穂郡相生町 播磨造船所内 其ノ後ハ 吳</p>	<p>○艦裝具事務所設置 黒潮艦裝具事務所ヲ大阪市住吉區株式會社藤永田造船所内ニ設置シ十月二十二日事務ヲ開始セリ</p>	<p>○懲罰</p>
---	---	--	--	--	------------

0959

海軍公報(部内限)第三千三百四十五號

昭和十四年十月二十七日

一三三九

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十七日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、高雄▲、陸奥、
鈴谷、愛宕、▽蒼龍、夕張、□長門、□鳥海▲、
摩耶、▽那珂、▽赤城、▽劍埼、迅鯨、
山城、長鯨、駒橋

島風▲、灘風▲、夏雲▲、□村雨、春雨、夕立▲、
五月雨▲、□隴▲、潮、曙、□天霧▲、朝霧、
夕霧▲

伊一二四▲、伊七▲

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

【長浦】

△沖島、五十鈴

沙風、□野風、波風、□朝雲、山雲、響、電、
電、□曉、帆風、狭霧、□春風、旗風、峯雲

呂五四、呂五五、呂五六、伊六、□呂五七、
呂五九、呂五八、□伊五、伊四、伊二三

【石川島】

沼風▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

【館山】

(不知火)▲、(早潮)▲

【大湊】

澤風▲、
葵▲、□秋風、夕風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向、熊野▲、
鳳翔、最上▲、嚴島▲、古鷹、加古、鬼怒、
龍驤▲、▽大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、
夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波、□吹雪、白雲、初雪、□東雲、
叢雲、薄雲、霞▲、□叢▲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊七〇、
伊六九▲、伊八▲、□伊五五▲、伊五三▲、
伊五四▲、□伊七五▲、伊七四▲、□伊七三▲、
伊七二▲、伊七一▲

攝津▲、明石▲、隠戸、間宮、佐多、室戸

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【紀伊水道】

矢風

【大阪】

天龍

【神戸】

□彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

【相生】

(黑潮)▲、(夏潮)▲

【相生】

□伊六八▲、□伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、
(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、
(伊一〇)▲

【相生】

神風▲、□芙蓉▲、朝顔▲、刈萱▲

海軍公報(部内限)第三千三百四十五號

昭和十四年十月二十七日

一二三二

鶴見▲

(初鷹)▲

【玉】

呂六二▲

【多度津】

伊一二二

【因ノ島】

文月▲、水無月▲、卓月▲

【江田内】

平戸▲

【龜川】

白鷹

伊一、伊二、伊三

【白杵灣】

伊一二一

【舞鶴】

吾妻▲、多摩▲、利根▲、筑摩▲、白雲▲、羽風、太刀風

伊五二

【佐世保】

(陽炎)▲、(親潮)▲、(天津風)▲

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、飛龍、霧島、金剛

梨、竹、榎、桃、柳、檜、菫、蓬、菱、萩、柿、楡、初春、長月、大潮、荒潮、朝潮、満潮、望月、睦月、菊月、三月月、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一▲

呂六六、呂六八、伊六六▲、呂六四、伊六五▲、呂六三、呂六七、呂六五、伊六〇、伊五九、呂三四、呂三三、掃一一、掃一二

伊真鶴

敷島▲、早鞆

(雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲

【鎮海】

浦波

【羅津】

綾波

【ヒロ】

磐手、八雲、知床

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、八重山、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、峯風、沖風、若葉、子日、初霜

伊六三

隼、鴨、鴻、鶴、鷺、鳩、雉、千鳥、友鶴、初雁

掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳、野島

伊六三

友鶴、初雁

掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳、野島

伊六三

友鶴、初雁

掃三、掃六、掃一、掃二、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、襟裳、野島

【航海中】

石廊 (十六日羅府發「ホノルル」)

尻矢 (二十三日長浦發「羅府」)

伊六二、伊六一、伊六四 (二十四日吳發「日向灘」)